

「おもちゃ箱」のような車内

| Column |  
**ART & CULTURE**  
around 芸劇



# イケバスに乗って 池袋の街を巡ってみた

—— 芸劇研修生のつぶやき 取材・文：小山彩花  
(アーツアカデミー第9期研修生)

2月のある晴れた日、芸劇からIKEBUSに乗って池袋の街を一周してみようと思立った。IKEBUSとは、池袋の街を2つのルートで周回する電動バスのことだ。芸劇前にはおよそ20分に1回のペースでやってくる。車内からはどんな景色が見えるのだろう。

IKEBUSのマスコットキャラクター、赤いふくろうの“イケちゃん”が目印のバス停で待っていると、小さく赤い車体がゆっくりと停留所に入ってきた。左右に5つずつついた小ぶりのタイヤで懸命に走っている。

入口で100円玉を運賃箱に入れ、座席へ。ダイヤ、クラブ、スピード、ハートのモチーフが使われたトランプのカードのような座席と寄木張り風の模様をした床、ノスタルジックな音楽があわさって、まるでおもちゃ箱の中に入り込んだかのような。

IKEBUSは静かなモーター音とともに発車すると、ホテルメトロポリタンを経てびっくりガードをくぐり抜け池袋の東口側へ向かう。車内から覗く街並みは、初めて訪れる土地のように新鮮に映る。

東通りは、下町の雰囲気が残る商店街だ。通りには、美味しそう

なレストランや隠れ家のようなカフェ、ひっそりとした佇まいの書店などが連なっている。一つひとつこだわりと個性が感じられる。

東通りを抜け北に曲がると、隈研吾による近未来的なデザインの豊島区役所や東池袋駅前を経由して、IKE・SUNPARKの敷地内に入った。災害発生時には一時避難所としても機能する公園で、陽ざしにキラキラと輝く芝生にビニールシートを敷いてくつろぐ家族やカップル、そばにあるとしまキッズパークへと駆けていく子どもたち。

サンシャインシティの前を過ぎて行く。ゆっくりと進むIKEBUSは、片岡球子原画の陶板レリーフ「江戸の四季」を眺めるのにちょうどよい。かつては豊島公会堂や区役所があったHareza池袋周辺には劇場や映画館が集まる。

池袋駅北側の池袋大橋を渡り西口へ向かう。橋を渡るときにひときり目につくのは、豊島清掃工場の煙突だ。この街のゴミを焼却し、遙か上空に煙を吐き出している。いつも芸劇から眺めていた煙突を、今私はこうして見上げている。

ぐるっと一周して芸劇の停留所に帰ってきた。バスから降りると、日が暮れかかっている。およそ1時間のうちに、人や街並みが窓の向こうに流れて行った。ひとつとして同じ顔も風景もない。私は初めて池袋という街に出会ったような心持ちだった。これからは、気分を入れ替えたいとき、ランチを楽しみたいとき、IKEBUSに乗って出かけてみよう。今日みたいにあてもなく街を一周してみるのもよいかもしれない。



上：同乗した男の子も外の眺めに夢中  
右：窓から見上げた煙突



**IKEBUSに関する詳細**  
<https://travel.willer.co.jp/ikebus/>



“イケちゃん”が目印の停留所

## INFORMATION

東京芸術劇場では、劇場をご利用になるすべての方の安全と安心のため、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組みをおこなっています。ご来館される皆さまは、当劇場ウェブサイトの【東京芸術劇場における新型コロナウイルス感染症対策とご来館される皆さまへのお願い】や館内掲示されている注意事項などを、ご確認ください。



次号の発行は2022年7月1日を予定しています。

### 〈鑑賞サポート〉について

東京芸術劇場では、一部の事業で、視覚・聴覚障害者のための舞台鑑賞サポートやヒアリンググループ、各種割引、託児サービスなどの〈鑑賞サポート〉を行っております。ぜひご利用ください。詳細 ▶ 劇場HP内「鑑賞のサポート」ページ  
[www.geigeki.jp/access/support.html](http://www.geigeki.jp/access/support.html)

新型コロナウイルス感染症対応のため、掲載情報に変更がでる場合がございます。  
最新情報は、東京芸術劇場や各主催者のHP等でご確認ください。

# 東京 芸術 劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre